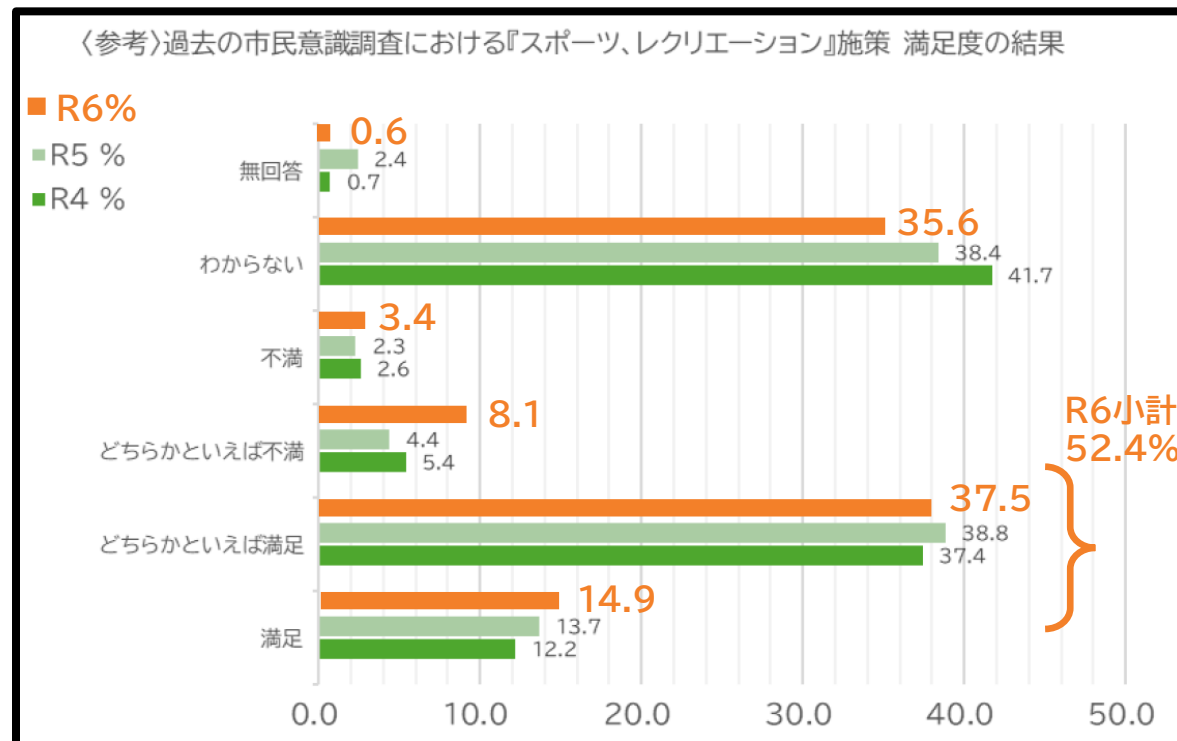
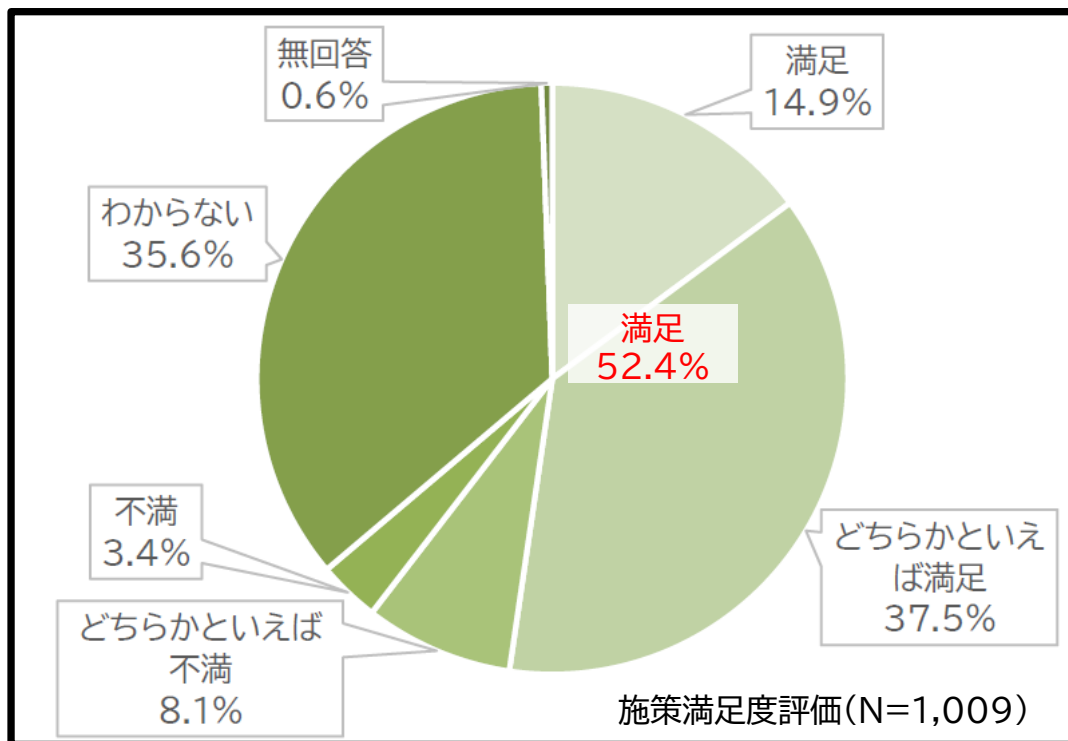




- 「満足」と「どちらかといえば満足」は約5割で推移 R6：52.4% ←R5：52.5% ←R4：49.6%
 - 一方で、『わからない』の回答が約4割弱で推移 R6：35.6% ←R5：38.4% ←R4：41.7%
- （理由）・スポーツに関心のある市民がやや増えたことが推測される

施策4-5 スポーツ、レクリエーション（分析）

『スポーツ、レクリエーション』の満足度 × 回答者属性

		回答者数	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない	無回答
全 体		件数 1,009 % (100.0)						
年齢	10代	件数 1 % (100.0)	3 (27.3)	4 (36.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (36.4)	0 (0.0)
	20代	件数 88 % (100.0)	16 (18.2)	19 (21.6)	3 (3.4)	2 (2.3)	53 (53.4)	1 (1.1)
	30代	件数 156 % (100.0)	23 (14.7)	60 (38.5)	6 (3.8)	6 (3.8)	61 (39.1)	0 (0.0)
	40代	件数 175 % (100.0)	29 (16.6)	63 (36.0)	16 (9.1)	7 (4.0)	59 (33.7)	1 (0.6)
	50代	件数 196 % (100.0)	27 (13.8)	71 (36.2)	21 (10.7)	6 (3.1)	69 (35.2)	2 (1.0)
	60代	件数 193 % (100.0)	19 (9.8)	74 (38.3)	20 (10.4)	6 (3.1)	74 (38.3)	0 (0.0)
	70代以上	件数 180 % (100.0)	32 (17.8)	81 (45.0)	16 (8.9)	7 (3.9)	43 (23.9)	1 (0.6)
	無回答	件数 10 % (100.0)	1 (10.0)	6 (60.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (20.0)	1 (10.0)

(1) 年齢クロスによる考察

- ①10代と70代以上の63%が満足・やや満足と回答
- ②40～60代の13%がやや不満・不満と回答
- ③20代は53%がわからないと回答

比較的時間のある世代と現役世代との間に、満足度の差が生じている。

→現役世代に対する施策展開が不十分である可能性



『スポーツ、レクリエーション』の満足度 × 回答者属性

		回答者数	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない	無回答
全 体		件数 1,009 % (100.0)						
お住まいの地区	芋窪・蔵敷地域	件数 114 % (100.0)	11 (9.6)	47 (41.2)	9 (7.9)	4 (3.5)	43 (37.7)	0 (0.0)
	奈良橋・湖畔・高木地域	件数 97 % (100.0)	12 (12.4)	36 (37.1)	6 (6.2)	5 (5.2)	38 (39.2)	0 (0.0)
	狭山・多摩湖・清水地域	件数 97 % (100.0)	26 (26.8)	30 (30.9)	4 (4.1)	2 (2.1)	34 (35.1)	1 (1.0)
	上北台・立野地域	件数 136 % (100.0)	16 (11.8)	46 (33.8)	7 (5.1)	9 (6.6)	57 (41.9)	1 (0.7)
	中央・南街地域	件数 156 % (100.0)	24 (15.4)	63 (40.4)	11 (7.1)	6 (3.8)	51 (32.7)	1 (0.6)
	仲原・向原地域	件数 139 % (100.0)	21 (15.1)	51 (36.7)	6 (4.3)	3 (2.2)	58 (41.7)	0 (0.0)
	清原・新堀地域	件数 69 % (100.0)	12 (17.4)	28 (40.6)	9 (13.0)	1 (1.4)	18 (26.1)	1 (1.4)
	桜が丘地域	件数 175 % (100.0)	26 (14.9)	69 (39.4)	27 (15.4)	4 (2.3)	49 (28.0)	0 (0.0)
	無回答	件数 26 % (100.0)	2 (7.7)	8 (30.8)	3 (11.5)	0 (0.0)	11 (42.3)	2 (7.7)

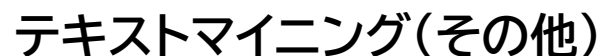
(2) 地域別クロスによる考察

○狭山・清水、中央・南街、清原・新堀：55%以上が満足
×桜が丘：17.7%が不満（他地域の不満率の平均は10%程度）

- ・清原・新堀地区の満足度が最も高いが、昨年度と比較して満足度が4%増加していることから、清原中央公園運動広場開設が影響を与えた可能性がある。
- ・桜が丘地域の不満割合が最も高く、令和5年度(5.7%)と比較して、10%以上増加しているが、「令和6年4～6月まで市民体育館空調設備改修工事のため、施設を利用できなかったことなどが結果に表れた可能性は推察できる。



自由記述一覽(抜粋)



市民プールが夏だけでなく冬も使ったら良い。

市民体育館を利用していますが平日に行けたら参加したいプログラムがあります。土日、祝日にもプログラムを充実させてほしい。

時間で開閉していいのでバスケットコートやスケートボード場などがあるといいなと思います。

市民プールは夏場のみ使用で殆ど未使用、これこそ無駄だと思う。
初期費用は掛かっても通年使用できる室内プールを検討して欲しい。

夜間に市民体育館を利用することがあるのですが駐車場の入口の明かりが暗い、駐車場内も体育館への通路も暗いと思います。

イベントをもっと設けて賑やかにしてほしいです。

- ・ 体育施設の整備（ハード面）やイベント実施（ソフト面）に関する意見や要望などがあることがわかる。
- ・ テキストマイニングから情報を読み取ることが難しい。



（１）現状と課題

令和６年度の満足度は、令和５年度と比較して０．１％減少しているが、令和６年度に新たに実施した事業として、清原中央公園運動広場の整備（令和６年９月）、多摩湖駅伝における多摩湖周回の再開（令和７年３月）が挙げられる一方、廃止した事業はないことや、令和４年度の満足度と比較すると満足度は増加していることを考慮すると、満足度の変化は誤差の範囲内である可能性がある。

（２）取組の方向性

市民からの意見として多い要望として、

- ①温水プールや体育館の整備に関する要望（ハード面）と、
- ②イベント開催に解する要望（ソフト面）の２つの要望が多い。

→長期的には施設の再整備計画を立てつつ、直近ではイベントの開催を行っていくことが満足度の向上に繋がると考えられる。